

## 一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内  
TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354  
西日本支部：〒663-8133 兵庫県西宮市上田東町 4-97 甲南電機 (株) 本社内  
TEL. 0798-40-6600 FAX. 0798-40-6645

### 第 26 回政策委員会の開催

第 26 回政策委員会を 3 月 30 日 (木) 16:00~17:00 まで工業会会議室で開催しました。定刻に事務局より開会を宣し、田中会長の議事進行により会議が進行しました。初めに田中会長から簡単な挨拶があり、その後、議事進行に入りました。事務局は配布資料 1 号で平成 28 年度事業報告書及び収支決算報告書 (案) について以下のような概要説明を行いました。平成 28 年度の経済環境は総じて内外ともに堅調に推移したなかで当業界の出荷額が前年度比 3%強を記録したこと。また、収支については各事業分野で節約に努めたこと。議長は本件を議場に諮り異議な

く承認されました。第 2 号議案は会員の移動状況の件で、事務局は配布資料 2 で説明し議長は議場に諮り、異議なく承認されました。第 3 号議案はその他であり、配布資料 3 で平成 29 年・年度の需要見通し、さらに最近の出荷動向等について説明しました。

その後、経済産業省の片岡産業機械課長から最近の経済情勢等についてお話を伺いました。

委員会開催・活動状況報告  
(詳細については各担当者にご照会下さい)

### 主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第 26 回政策委員会開催・・・・・・・・・・	1	標準化事業／規格事業・・・・・・・・・・	4
委員会開催・活動状況		技術調査事業・・・・・・・・・・	5
需要対策事業・・・・・・・・・・	2	会員ニュース・・・・・・・・・・	7
国際交流事業・・・・・・・・・・	2	今後の主要行事予定・・・・・・・・・・	7
標準化事業/ISO 対策事業・・・・・・・・	3	統計資料・・・・・・・・・・	12

(一社) 日本フルードパワー工業会  
URL : <http://www.jfpa.biz/>

～～～～～～～～  
需要対策事業  
～～～～～～～～

総需要委員会

日 時 3月23日(木) 15:00～17:00

場 所 機械振興会館 B3-2 会議室

出席者 中間委員以下 17名

事務局 藤原、唯根

議 事

事務局の司会で会議を進行した。委員長が所要のため欠席したので初めに中間委員から平成29年・年度の各種経済機関が予測した経済予測をベースにした経済動向とそれに基づく当業界のマクロ予測について詳細な説明を受けた。その後、油圧分科会と空気圧分科会に分かれ平成29年・年度の見通しについて需要部門ごとの積み上げ予測について担当別に検討・審議した。その後、両分科会及び委員会の委員によるメールでの意見交換を行い、3月30日に各委員間で調整し予測(案)を決めることとなった。

総需要委員会油圧分科会

日 時 3月23日(木) 16:00～17:00

場 所 機械振興会館 B3-2 会議室

出席者 佐々木委員以下 7名

事務局 藤原、唯根

議 事

事務局の司会で平成29年・年度の需要動向について各委員から担当業種ごとに積み上げ予測値についての詳細な説明があり、各委員との意見交換を行った。この結果、基本的には今回の積み上げ予測値をベースとするが、一部修正もあるため、担当委員と調整し、事務局へメールで回答願いたい旨お願いした。その後、事務局で整理して平成29年・年度の見通し(案)を作成し、各委員宛に送付することとし、また、今後の委員間の連絡はメールで行うこととし、3月30日に各委員間で調整し予測(案)を決めることとなった。なお、マクロとの乖離が大きいものについては、中間委員に再調整をお願いした。

総需要委員会空気圧分科会

日 時 3月23日(木) 16:00～16:45

場 所 機械振興会館 B3-2 会議室

出席者 高下主査以下 5名

事務局 藤原

議 事

高下主査の司会で平成29年・年度の需要動向につ

いて各委員から担当業種ごとに積み上げ予測値についての詳細な説明があり、各委員との意見交換を行った。この結果、一部の母機業界向けで積み上げ見通しが高いとの指摘があり、検討の結果、担当委員に再調整をお願いした。なお、再調整の結果については、明後日までに事務局宛にメールで回答願いたい旨お願いした。その後、事務局で整理して平成29年・年度(案)を作成し、各位委員宛に送付することとした。また、今後の委員間の連絡はメールで行うこととし、3月30日に各委員間で調整し予測(案)を決めた。なお、マクロとの乖離が大きいものについては、中間委員に再調整をお願いした。

～～～～～～～～  
国際交流事業  
～～～～～～～～

国際サミット会議出席

日 時 3月9日(木) 12:00～15:30

場 所 米国ラスベガス CONEXPO/IFPE 見本市会場内  
会議室 : S206-207

出席者 新開委員長以下 2名

事務局 堀江

議 事

初めに NFPA(米国油空圧工業会)会長より開会挨拶があり、続いて米国学会、国際標準化、国際統計委員会からの活動状況報告の後、13カ国(参加約50名)の工業会による自国の油空圧業界の経済状況について報告が行われた。報告によれば2016年はほぼ横ばいが日本、ドイツ、イタリア、台湾等で、中国は+2.5%増、また、英国、米国は約5%の減であった。一方、2017年の予想は0～+5%増と見る国が多かった。各国のプレゼン資料については当会 HP の会員サイトに掲載しております。



国際サミット会議風景(進行: NFPA)

ハノーバメッセ視察団説明会・結団式

日 時 3月27日(月) 14:30~17:00  
場 所 機械振興会館 6-62 会議室  
出席者 太田団長以下 18名  
事務局 堀江  
議 事

事務局の司会で団員の自己紹介に続いて視察団の旅行企画をしたベストワールド(株)による日程の紹介及び注意事項等について説明があった。その後、事務局から訪問先である日産自動車パルセロナ工場、コマツ鉦山機械デュッセルドルフ工場、JETRO デュッセルドルフ事務所及びハノーバーメッセ 2017 の概要説明と帰国後の報告会・報告書作成の分担等について打合せした。最後に、KYB・太田団長の乾杯挨拶を始めに団員同士の名刺交換等を行い懇親を深めた。  
報告会 5月18日(木) 東京プリンスホテルの予定



結団式風景

~~~~~  
標準化事業/ISO 対策事業  
~~~~~

#### 空気圧調質機器分科会

日 時 3月1日(水) 13:30 ~ 16:30  
場 所 機械振興会館 6-63 会議室  
出席者 小田主査以下 5名  
事務局 千葉, 前畑  
議 事

前回議事録の確認後、サイレンサ日本案を ISO 規格フランス案に規定の附属書として掲載する件について、原案を WG 事務局へ送付したことの報告があった。それに対して、WG 事務局より、原案を次回(2017年5月) ISO サンアントニオ会議の審議前に回覧すること、および本 ISO 規格案の DIS 投票時に規定附属書の掲載要望についてコメントすることが必要であるとの提案があり、今後その提案に沿って活動することとした。

次に、JIS B 8371 改訂について、改訂案の内容に

ついて継続検討した。

次回開催: 4月21日(金) 機振会館 6-60 会議室

#### 油空圧シリンダ分科会

日 時 3月3日(金) 13:30 ~ 16:30  
場 所 機械振興会館 6-64 会議室  
出席者 榎本主査以下 7名  
事務局 千葉, 前畑  
議 事

委員の新規加入があり、河野委員(甲南電機)が新委員に就任された。

前回議事録の確認後、東川委員より ISO フランクフルト会議の報告があった。

次に、JIS B 8366-1 の進捗状況として、JIS 原案作成本委員会(1/17)の指摘を修正の上、日本規格協会に提出してあり、来る3/14に規格調整分科会にて審議を受けるとの報告があった。

次に、JFPS 1024、JFPS 1025 の進捗状況として、最終版校了となり2月末にて発行されたとの報告があった。

次に、ISO 6020-1、ISO 6022、及び ISO 13726 の定期見直しについて審議した。ISO 6020-1 については、前回国際会議の討議内容が反映されていないため、投票の際、再度コメント提出することとした。ISO 6022 についても同様の対応することとした。ISO 13726 については、前記同様の対応に加え一部寸法表記の追加のコメント提出することとした。

最後に、平成28年度実績と平成29年度計画について審議した。平成29年度計画として、JIS B 8366-3 及び JIS B 8366-4 の改正について、対応する ISO 規格が日本案で制定されたため、テーマとして取り上げることとした。

次回開催: 6月9日(金) 機振会館 6-62 会議室

#### 油空圧シール分科会

日 時 3月10日(金) 13:30 ~ 16:45  
場 所 機械振興会館 5S-3 会議室  
出席者 川口主査以下 14名  
事務局 千葉, 前畑  
議 事

委員の交代として、国廣委員(NOK)が退任、宮本委員(NOK)が新委員に就任された。また、川口主査(阪上製作所)が今回限りで退任され、それに伴い、次回から南副主査(日本バルカー工業)が新主査に、方波見委員(荒井製作所)が新副主査に就任することになった。

前回議事録の確認後、JIS 規格について審議した。

JIS B 8396 については、木挽委員の見直し案について検討し、シール損傷防止のための角部面取りの追加、一部の図だけに記載されている円筒度指示の削除、分割方式の注記、等の修正をすることとした。JIS B 8395 については、2/10 に経済産業省の審議を受け指摘事項を修正し提出した、2/16 期限の意見公告に対して特になし、との報告があった。

次に、ISO 3601-1 定期見直しについて審議し、前回の国際会議で日本とドイツで合意した折衷案を日本案として提出することとした。

最後に、平成 28 年度実績と平成 29 年度計画について審議した。平成 29 年度は、6 月開催予定の JIS 原案作成本委員会に向けた JIS B 8396 見直しを重点に活動することとした。

次回開催：4 月 25 日(火)機振会館 6-64 会議室

#### 空気圧信頼性分科会

日 時 3 月 15 日(水) 13:30 ~ 15:30

場 所 機械振興会館 5S-4 会議室

出席者 中曽根主査以下 3 名

事務局 千葉, 前畑

#### 議 事

前回議事録及び昨年 6 月開催された ISO ポーランド会議報告について確認した後、ISO/PDAM 19973-2 の投票内容にて検討した。その結果、原案には日本提案の内容は盛り込まれているものの、 $B_{100}$  値の決め方の妥当性に疑問があるとの意見が出された。しかし、これまでの経緯から投票は賛成せざるを得ないため、コメント付き賛成にて投票することとした。

次回開催：別途調整

#### 投票に付されている ISO 規格案

(TC131)

ISO/FDIS 18869 Hydraulic fluid power -- Test methods for couplings actuated with or without tools

ISO/FDIS 6605 Hydraulic fluid power -- Test methods for hoses and hose assemblies

~~~~~

標準化事業/規格事業

~~~~~

#### 油空圧継手・ホース分科会

日 時 3 月 7 日(火) 13:30 ~ 15:30

場 所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 板井主査以下 7 名

事務局 千葉, 前畑

#### 議 事

委員の交代として、中林主査(ブリヂストンフローテック)が退任、横岡委員(ブリヂストン)が新委員に就任された。中林主査の退任に伴い、板井委員(横浜ゴム)が新主査に就任された。

前回議事録の確認後、ISO 投票に関して審議した。ISO/CD 10763 は、バースト圧力の計算式の根拠を提示要求するコメント付きの承認とすることとした。ISO/FDIS 18869 は、日本提案が盛り込まれているものの、修正必要な箇所があると思われるが、FDIS 段階につき大きな修正は許可されないため、コメントとして提出すべく、実際の運用面からのコメントを 3 月中にまとめることとした。

次に、ISO/TS 17165-2 の JFPS 化について審議した。保管期間をどうするかが問題点として挙げられ、ISO 8331 と TS 17165 との整合を取り設定することとした。なお、それまでには時間が掛かるため、JFPS 化の文面検討は進めておくこととした。

最後に、平成 28 年度実績と平成 29 年度計画について審議した。平成 29 年度計画の新規案件として、ISO 1179-1 の JIS 化について、本規格が製品に適用されているか否かを調査し JIS 化の判断をすることとした。

次回開催：6 月 15 日(木)機振会館 6-62 会議室

#### 油圧システム分科会

日 時 3 月 10 日(金) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 B3-8 会議室

出席者 渋谷主査以下 5 名

事務局 千葉

#### 議 事

平成 28 年度 B 区分に登録した JIS B 0125-2 「油圧・空気圧システム及び機器—図記号及び回路図—第 2 部：回路図」の改正原案について検討審議した。

前回問題となった、missing port については適切な訳語が見当たらないので特に訳さないことにした。

最後に、平成 28 年度の活動報告(案)及び平成 29 年度活動計画(案)を討議した。また、次年度から主査を町田委員にお願いすることにした。

次回開催：4 月 13 日(木)機振会館 6-63 会議室

#### 空気圧システム分科会

日 時 3 月 17 日(金) 13:00 ~ 16:00

場 所 機械振興会館 6-60 会議室

出席者 増尾主査以下 7 名

事務局 千葉, 前畑



## 議 事

前回議事録の確認後、改訂版リスク低減に関するガイドブック（JIS B 8370:2013 準拠）案について継続審議した。今回で空気圧システムの安全確保のためのリスク低減方法の一覧表の審議は終了し、次回から本文について審議することとした。

最後に、平成 28 年度実績と平成 29 年度計画について審議した。平成 29 年度は、新規案件として JFPS 2011（空気圧用図記号の実用指針）の見直しを追加し活動することとした。

次回開催：4 月 19 日（水）機振会館 6-68 会議室

## フィルタ・作動油分科会

日 時 3 月 23 日（木）13：30 ～ 16：40

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 難波主査以下 7 名

事務局 千葉、前畑

## 議 事

最初に、投票に掛けられていた ISO/CD 2942 について、難波主査よりコメント付き承認で投票した旨説明があり、他国の投票結果について各委員で共有化した。

次に、JIS B 9938「難燃性作動油の使用指針」の改正案を継続審議した。

最後に、平成 28 年度実績と平成 29 年度計画について審議した。平成 29 年度は、改正作業中の JIS B 9938「難燃性作動油の使用指針」を JIS 公募（区分 B）案件として登録し活動することとした。

次回開催：5 月 24 日（水）機振会館 6-64 会議室

## 用語分科会

日 時 3 月 24 日（金）10：00 ～ 11：40

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 眞田主査以下 6 名

事務局 千葉、前畑

## 議 事

委員の交代があったため自己紹介を行った後、投票に掛かっている ISO/CD 5598 について審議した。その結果、日本提案の修正案に対して一部未修正の部分があること、流れ方向を図示すること、及び「ブリードオフ回路」という用語を新規登録提案することをコメントとして賛成投票することとした。

次回開催：別途調整

## 発行された工業会規格

JFPS 2025 空気圧スイッチ（センサ）用語

~~~~~

## 技術調査事業

~~~~~

## 技術委員会空気圧部会若手技術者懇談会

日時 3 月 1 日（水）10：30 ～ 16：00

場所 トヨタ会館及び元町工場

出席者 土井高司部会長以下 13 名

事務局 大橋

## 概 要

空気圧部会の第 2 回目となる工場見学会は、豊田市のトヨタ会館集合、ショールーム見学後、約 40 名の一般の団体に混じって元町工場の組み立て、完成車検査ラインを見学した。

トヨタ会館には、ほぼ現行車種の展示と変速機のカットモデルと説明資料、燃料電池車 MIRAI や「次世代電池」「クルマの次の 100 年」等を示すパネル展示等があり、さらにバイオリン演奏ロボットの展示・実演も行われていた。

元町工場はトヨタ生産方式“Just in Time”の発祥の地であり、クラウンやレクサスブランド車、ハイブリッド車等の混流組立生産を行っている。コースに沿って、「カンバン」「指示ピラ」「総合アンドン」「ひもスイッチ」など、“自動化と作り込み”の仕掛けを間近に見ながら案内者の説明を聞き、最後に 1500 項目にも及ぶ完成車検査工程を見学した。

約 70 分の見学終了後、会場を豊田市民文化会館に移し、4 班に分かれて見学内容のグループ討議と発表、質疑応答を行った。各班、ポイントを三つに絞って発表し、いずれもトヨタの生産方式と、それを支える作業員のスキルアップを常に図っていること、不良を後工程に流さない仕組みに着目していた。

2 回にわたる懇談会の概要は、機関誌「フルードパワー」春号に報告記事として掲載する予定。



トヨタ会館にて（展示車レクサス LFA）

ADS 国際標準化推進・準備委員会

開催日 3月16日(木) 10:00～17:00  
場所 機械振興会館 B3-1 会議室  
出席者 山口委員長以下12名  
事務局 藤原、宮川、千葉、大橋  
議事

山口委員長の挨拶、藤原専務の第3年度の取り組みに関する説明の後、議事に入った。

#### 1. 国際標準化に関する ISO 提案に向けた今後の進め方

宮川幹事より、TC131 に新 SC の創設を提言するに際しての標準化アイテム、大学と企業の推進体制などの再確認が行われた。また、各国担当の分担のイメージ図などが示された。

#### 2. 実施結果の詳細と標準化アイテムとの関連性

各 WG より、本年度の WG 実施結果の総括をした上で、標準化アイテムとの関連性を主体に詳細な説明がなされ、質疑応答、意見交換を行った。併せて平成 29 年度実施すべき実験項目が発表された。これらの項目は、平成 29 年度第 1 回委員会前までに四半期ごとの実施計画のなかでまとめることとした。

#### 3. まとめ

山口委員長、藤原専務、宮川幹事より、前項の総括と標準化に向けた活動の考え方についてのコメントを受け、まとめとした。

#### 4. その他 連絡事項等

前回委員会で提示した平成 29 年度大日程計画(案)を再確認した結果、重要案件項目として標準のドラフト作成を計画に入れるよう見直すこととなった。IFPEX と JFPS シンポジウムでのポスター発表に関しては、適切な時期に水圧部会との連携をとることとした。また、大学側委員相互の調整により、年間の委員会開催予定日を決定した。

その他、事務局から、近々、平成 29 年度の委員委嘱状及び承諾書用紙を送る旨の説明があった。

次回開催：5月9日(火) 機振会館

技術委員会 水圧仕様技術調査 WG (第 5 回)

日時 3月22日(水) 13:15～15:00

場所 機械振興会館 6S-2 会議室

出席者 黒須寛主査以下 10 名

事務局 大橋

議事

前回議事録の確認の後、黒須主査から縮流・拡流管路及びシリンダ接続管路に対する流れ解析結果の概要が紹介され、次回継続テーマとした。

引き続き、沼津高専名誉教授・大島茂先生による「水圧ポペット弁内のキャビテーション」に関する

招待講演を行った。ポペット形圧力制御弁の半割りモデルによる水と油のキャビテーション初生や発生領域の相違など興味ある実験研究結果が示され、聴講の ADS 標準化推進委員お二人からも活発な質疑応答や議論がなされた。

技術委員会 水圧部会 (平 28 年度第 6 回)

日時 3月22日(水) 15:00～17:00

場所 機械振興会館 6S-2 会議室

出席者 宮川部会長以下 15 名

事務局 藤原専務、大橋

議事

今回、聴講者として初参加した CKD の委員を含め自己紹介の後、議事に入った。

#### 1. IFPEX2017 出展関連

出展希望社 10 社をほぼ確定した。出展コンセプトは“水が機械を動かす!”を踏襲することとし、パンフレット表紙も前回からの連続性を持たせることとした。出展物を再確認し、ADS 国際標準化委員会からの出展装置を写真にて確認した。パンフレット本文については、事前に実施したアンケート結果を配布資料にて確認し、事務局が調整後、試案を作成することとした。

このほか、各社の展示品と名札、パネル、及び JFPA 共通パネル、案内状等の全準備品を大林委員作成の一覧表にて確認し、スケジュールに基づいて個別に各社のデータ提出等具体化を進めることとした。また、ブログでの出展概要の予告も漸次進めることとした。

#### 2. ブログ掲載状況と解析

1～3 月のブログ状況が鳥居委員から説明された。最新記事は、IFPEX2017 の募集広告と水圧コーナー出展の予告をアップした。

#### 3. 報告(展示会視察報告)ほか連絡事項

前回の部会以降、展示会視察は行っていないが、累計 10 回の視察にて、展示社の水圧に対する知名度がまだまだ低いという印象を受けたことが田辺委員から報告された。

次回開催:平 29 年度第 1 回は 4 月下旬とし別途調整

技術委員会空気圧部会第 533 回特許分科会

日時 3月24日(金) 13:00～17:00

場所 機械振興会館 6-61 会議室

出席者 栗盛幹事以下 6 名

事務局 吉田

議事

前回議事録及び配付資料の確認を行った。公報の

検討と無効理由調査については、2件については引き続き過程を観察することとした。1件については今回で調査を終了することとした。1件については証拠資料の内容を整理して外部調査の検討することとした。1件については引き続き調査を行うこととした。新規案件が提出され、審査過程を観察することとした。平成29年度予算及び会議の開催予定(案)について意見調整を行った後、平成28年度の活動内容をまとめた。

次回開催：4月21日(金) 機振会館6-63会議室

~~~~~

会員ニュース

~~~~~

#### ☆社長交代

(正会員)

(株)不二越から社長の交代の連絡がありましたのでお知らせします。

平成29年2月22日付

株式会社 不二越

(昇格)

代表取締役社長 薄田 賢二

(昇任)

代表取締役会長 本間 博夫

#### ☆社長交代

(正会員)

ナブテスコ(株)から社長の交代の連絡がありましたのでお知らせします。

平成29年3月28日付

ナブテスコ株式会社

(昇格)

代表取締役社長 寺本 克弘

(昇任)

取締役会長 小谷 和朗

#### ☆本社移転

(賛助会員)

日本フィルトレーショングループ(株)(旧:(株)マレーインダストリアルフィルトレーション)より、本社移転の連絡がありましたのでお知らせします。

平成29年2月13日付

新本社所在地：〒113-0033

東京都文京区本郷1丁目24-7

IS弓町ビル6階

新代表電話番号：03-5802-7340

03-5802-7341 (営業)

03-5802-7343 (技術)

03-5802-7344 (経理)

新代表FAX番号：03-5802-7345

#### ☆社名変更

(賛助会員)

シーシーアイ(株)からシーシーアイビジネスを取り扱う「Critical Engineering 事業部」とノルグレンビジネスを取り扱う「Precision Engineering 事業部」を傘下に持つ「IMI ジャパン(株)」に名称を変更する旨連絡がありましたのでお知らせします。

平成29年4月1日付

新会社：IMI ジャパン株式会社

なお、本社、各事業部、各営業所の住所、電話番号等には変更がありません。

#### ☆創立25周年記念式典

(賛助会員)

ポクレンハイドロリックス(株)

平成29年3月14日に、横浜にて日本法人創立25周年記念の式典と懇親会が開催されました。

~~~~~

今後の主要行事予定

~~~~~

#### ☆4月21日(金)第80回理事会及び懇親会

(時間) 15:30~16:50

(場所) ザ・プリンスさくらタワー  
高輪

2F「コンファレンスフロア」

#### ☆5月18日(木)平成29年度(第18回)定時総会及び懇親会

(時間) 15:30~16:50

(場所) 東京プリンスホテル

2F「サンフラワーホール」

同懇親会

(時間) 17:00~18:30

(場所) 東京プリンスホテル

2F「マグノリアホール」

#### ☆5月19日(金)第56回JFPA 懇親ゴルフ会

(場所) 程ヶ谷ゴルフ倶楽部スタート

OUT 9:30、36、42 3組

IN 9:30、36、42 3組

#### ☆9月13日(水)~15日(金)IFPEX2017

(場所) 東京ビックサイト東ホール

~~~~~  
3月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)  
~~~~~

第26回政策委員会

開催日 3月30日(木)

出席者

会長 田中 治(油研工業)

副会長 臼井 政夫(KYB)

〃 十万 幹雄(神威産業)

〃 宮内 壽一(甲南電機)

〃 北畠 多門(SMC)

監事 松井 正彦(マツイ)

〃 古川 清二(税理士法人ピラント)

(需要対策事業)

総需要委員会

開催日 3月23日(木)

出席者

委員 中間正道(中間行政法務事務所)

油圧機器分科会

開催日 3月23日(木)

出席者

委員 佐々木毅(イートン)

〃 北村嘉之(KYB)

〃 水 悟史(川崎重工業)

〃 山脇研郎(住友精密工業)

〃 小林幸雄(ボッシュ・レックスロス)

〃 斉藤広志(ボッシュ・レックスロス)

〃 矢作秀郷(油研工業)

空気圧機器分科会

開催日 3月23日(木)

出席者

主査 高下 修(SMC)

委員 三好秀嘉(SMC)

〃 大朝栄一(甲南電機)

〃 今井智明(CKD)

〃 加藤 剛(豊和工業)

(国際交流事業)

国際サミット会議

開催日 3月9日(木)

出席者(JFPA国際委員会代表)

委員長 新開 諭(甲南電機)

委員 澤田啓支朗(タイヨーインターナショナル)

(国際交流事業)

ハノーバメッセ視察団説明会・結団式

開催日 3月27日(月)

出席者

団長 太田 晶久(KYB)

副団長 花岡 隆司(神威産業)

団員 星 蔵貴(神威産業)

〃 岩村 裕之(光陽精機)

〃 中田浩一郎(光陽精機)

〃 吉富 英明(南武)

〃 野村 正樹(南武)

〃 西脇 俊一(ニッタ)

〃 多米 龍司(日本アキュムレータ)

〃 真田 秀幸(日東工器)

〃 高橋 陽一(日東工器)

〃 山崎 真人(廣瀬バルブ工業)

〃 浅尾 幸良(廣瀬バルブ工業)

〃 山下 太郎(マツイ)

〃 佐藤 伸二(三尾製作所)

〃 高橋 友則(三尾製作所)

旅行社 野本 祐史(ベストワールド)

〃 尾谷有里奈(ベストワールド)

(標準化事業/ISO対策事業)

空気圧調質機器分科会

開催日 3月1日(水)

出席者

主査 小田敏裕(甲南電機)

委員 三村岳(SMC)

〃 土岐真人(コガネイ)

〃 國崎雄嗣(CKD)

〃 高橋隆通(甲南電機)

油空圧シリンダ分科会

開催日 3月3日(金)

出席者

主査 榎本晴夫(甲南電機)

委員 渋谷修一(SMC)

〃 塩田浩司(コガネイ)

〃 吉田泰裕(CKD)

〃 東川智信(TAIYO)

〃 渡部文雄(日本シリンダ共同事業)

〃 河野喜之(甲南電機)



油空圧シール分科会

開催日 3月10日(金)

出席者

- 主査 川口葵(阪上製作所)  
委員 方波見栄次(荒井製作所)  
" 保科俊明(SMC)  
" 國廣洋一(NOK)  
" 中尾雅司(NOK)  
" 太田正貴(阪上製作所)  
" 相場宣慶(東京計器)  
" 斎藤俊一(日東工器)  
" 南暢(日本バルカー工業)  
" 小畑博美(JFPA)  
" 木挽一彦(三菱電線工業)  
" 北村剛(油研工業)  
" 宮本博夫(NOK)

オブザーバ 益岡道浩(エアウォーターマッハ)

空気圧信頼性分科会

開催日 3月15日(水)

出席者

- 主査 中曽根祐司(東京理科大学)  
委員 富田吉基(CKD)  
" 高橋浩爾(上智大学)

(標準化事業/規格事業)

油空圧継手・ホース分科会

開催日 3月7日(火)

出席者

- 主査 板井淳一(横浜ゴム)  
委員 中林邦明(ブリヂストンフローテック)  
" 岩崎宏文(イハラサイエンス)  
" 緒方征嗣(日東工器)  
" 小島研二(日本ホース金具工業会)  
" 小島博(十川ゴム)  
" 横岡慎吾(ブリヂストン)

油圧システム分科会

開催日 3月10日(金)

出席者

- 主査 渋谷文昭(東京計器)  
委員 町田哲治(東京計器)  
" 中川幸隆(川崎重工業)  
" 山本 裕(ボッシュ・レックスロス)  
" 城ヶ崎正生(豊興工業)

空気圧システム分科会

開催日 3月17日(金)

出席者

- 主査 増尾秀三(CKD)  
委員 佐々木政彰(アズビルTACO)  
" 上間丈司(クロダニューマティクス)  
" 神戸孝典(甲南電機)  
" 門間崇宏(コガネイ)  
" 張 護平(SMC)  
" 田中和彦(TAIYO)

フィルタ・作動油分科会

開催日 3月23日(木)

出席者

- 主査 難波竹己(日本ポール)  
委員 一ノ瀬健夫(SMC)  
" 山田高志(大生工業)  
" 相場宣慶(東京計器)  
" 三好真介(MORESCO)  
" 大塚宏行(油研工業)  
" 水上敬(リオン)

用語分科会

開催日 3月24日(金)

出席者

- 主査 眞田一志(横浜国立大学大学院)  
委員 伊藤和巳(KYB)  
" 高橋隆通(甲南電機)  
" 町田哲治(東京計器)  
" 山本裕(ボッシュ・レックスロス)  
" 楊春明(SMC)  
" 金子幸夫(コガネイ)

(技術調査事業)

技術委員会空気圧部会若手技術者懇談会(第2回)

開催日 3月1日(水)

出席者

- 部会長 土井高司(コガネイ)  
参加者 榎本真之(SMC)  
" 山田知明(SMC)  
" 川村陽一(SMC)  
" 西 泰光(甲南電機)  
" 内沢佳希(コガネイ)  
" 荒木 実(コガネイ)  
" 佐藤佑哉(コガネイ)  
" 浅野公則(コガネイ)  
" 大石 崇(CKD)  
" 伊藤圭祐(CKD)

〃 川本哲也 (CKD)

〃 武田沙織 (CKD)

ADS 国際標準化推進・準備委員会

開催日 3月16日(木)

出席者

委員長 山口 惇 (横浜国立大学)

委員 眞田一志 (横浜国立大学)

〃 飯尾昭一郎 (信州大学)

〃 中尾陽一 (神奈川大学)

〃 鈴木健児 (神奈川大学)

〃 桜井康雄 (足利工業大学)

〃 柳田秀記 (豊橋技術科学大学)

〃 吉田太志 (KYB)

〃 井口 務 (廣瀬バルブ工業)

〃 黒須 寛 (イハラサイエンス)

〃 村田秀紀 (阪上製作所)

〃 鳥居良介 (阪上製作所)

〃 齊藤理人 (日本アキュムレータ)

〃 細井耕平 (堀内機械)

技術委員会 水圧仕様技術調査WG(第5回)

開催日 3月22日(水)

出席者

主査 黒須 寛 (イハラサイエンス)

副査 大林義博 (KYB)

委員 宮川新平 (JFPA)

〃 村田秀紀 (阪上製作所)

〃 鳥居良介 (阪上製作所)

〃 内田 晃 (日本アキュムレータ)

〃 田邊康伸 (廣瀬バルブ工業)

講師 大島 茂 (元沼津高専)

[聴講] 飯尾昭一郎 (信州大学)

〃 鈴木健児 (神奈川大学)

技術委員会 水圧部会 (平28年度第6回)

開催日 3月22日(水)

出席者

部会長 宮川新平 (JFPA)

委員 大林義博 (KYB)

〃 村田秀紀 (阪上製作所)

〃 田邊康伸 (廣瀬バルブ工業)

〃 黒須 寛 (イハラサイエンス)

〃 鳥居良介 (阪上製作所)

〃 古本 篤 (三輪精機)

〃 柿木宗之 (タイヨーインタショナル)

〃 相澤健二 (日工産業)

〃 内田 晃 (日本アキュムレータ)

〃 高橋永治 (マルヤマエクセル)

[聴講] 安藤 進 (オリオン機械)

〃 築山 真 (マツボー)

〃 駒田修吾 (CKD)

〃 中井政司 (CKD)

技術委員会空気圧部会

第533回特許分科会

開催日 3月24日(金)

出席者

幹事 栗盛宏樹 (アズビルTACO)

委員 井野雅康 (SMC)

〃 出澤 大 (クロダニューマティクス)

〃 赤松直人 (甲南電機)

〃 今野英俊 (コガネイ)

〃 細田一也 (CKD)

(振興対策事業)

産機・建機合同部会

日時 3月15日(水)

出席者

部会長 石井 剛 (KYB)

〃 岡根謙一 (油研工業)

委員 水 悟志 (川崎重工業)

〃 北村嘉之 (KYB)

〃 谷口正人 (島津製作所)

〃 松井基幸 (島津製作所)

〃 堀 讓二 (油研工業)

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<3月>

1日(水)

・技術(委)空気圧若手技術者懇談会

・ISO(委)空気圧調質機器分科会

3日(金)

・ISO(委)ISOシリンダ分科会

7日(火)

・標準化(委)継手ホース分科会

7日(火)~11日(土)

・国際(委)油空圧サミット・国際統計委員会  
(米国:ラスベガス)

10日(金)

・ISO(委)ISOシール分科会

- ・ ISO (委) 油圧システム分科会
- 15 日 (水)
  - ・ ISO (委) 空気圧信頼性分科会
  - ・ 振興対策 建機・産機合同部会
- 16 日 (木)
  - ・ 技術 (委) 国際標準化委員会準備会
- 17 日 (金)
  - ・ 標準化 (委) 空気圧システム分科会
- 22 日 (水)
  - ・ 技術 (委) 水圧部会
- 23 日 (木)
  - ・ 標準化 (委) フィルタ作動油分科会
  - ・ 振興対策 総需要委員会
    - 油圧機器分科会
    - 空気圧機器分科会
- 24 日 (金)
  - ・ 技術 (委) 空気圧部会第 533 回特許分科会
  - ・ 標準化 (委) 用語分科会
- 27 日 (月)
  - ・ 国際 (委) ハノーバメッセ視察団結団式
- 30 日 (木)
  - ・ 第 26 回政策委員会

経済産業省の HP では①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

---

---

☆経済産業省ホームページ

